地 各業界の更なる発展を目指

:の総会を掲載します。 題 解決を通じて、 工会議所 0 事業目的に密接に関連 地 域経済の総合的な振興発展に寄与。 尚 各団体の詳細は当所(風:43-5111)まで。 する当所関連の19 団体では、 本頁では外郭団 各々 0

氏新

連合会

業 度 たセ で 0) 事 定 和 は 5 3 4 業 時 ナ 年 計 総会を開 月 利 画・収 1 度 25 厚 開 は、 日 生 催 推 支予算を 八 等 生 催 進 一産性向 戸プ 0 事 業界 ·業を 令 ラ 決 上 ザ 振 和 計 8 一に向 4 ホ た 画 事 年 テ

働 災 戸 害 鉄 防 工 止 連 対 合 策 会 協 議会で 田 中 健二 は 年 会



▲総会開会前に、田中前会長に黄綬褒章授賞 記念品を贈呈。尚、円中は小野寺新会長

任さ は、 末年 育 嘉 隆 8 13 莮 る。 ょ 械 章 宏 氏 b, 氏 n 金 新 氏 たに小 た他、 属 任 株代 会員 期 (株) 光 満 八 浦 洋 副 野 事 戸 表 T 建 会長 業 鉄 取 寺 鉄 設 泰 伴 所 工 締 工 工 う役 とし 役 博 0 所)、 業 無 が 社 氏 (株) 員 災 て、 長 北 舎に 小 改 更 開 選 13 金 \mathbb{H} が \exists 催 浦 理 選 努 平 村 本

. 始 無災害総 決起 大会の <u> <</u> だ 11 7

は 事 退 4 黄 任 綬 b す へ褒章を 新たに るに 頂 選 た き 任 n 田 感 中 謝 前 申 会 L

たい 込えら 大震 協会は 災 災 現 あ 今後も更 あ 61 々 、 < 害低 防 新 る協会。 災 在 0 れ 事業 協に لح は、 た。 やコ 会長 L た 昭 挨 لح 減 13 0) 和 拶。 抱 を なるご協力 0 口 職 事 福 は、 時 36 負 向 推 災 0 61 業 利 ナ 年に 小野寺 禍 を け 7 も考えて 厚 進 代 等 12 業 は 語 生 た L 0) 0) 等 年 界 事 事 要 設 激 間 7 引き 業を 0) た 業 きたと 請 立 新 を 動 激 は 力 に応 が さ 会 お を 動 推 きた と 中 れ 長 願 乗 0) 東 思 進 聞 じ た は 13 ŋ 期 H 上 長 13 セ 抱 東

当

種 史 う。

越 間 本 げ

で

た

新 MY 就 72

口 港振 興 協

定時 は 5 計 総 月 画 戸 会を 並 20 港 び 日 振 13 開 興 八 収 催 協 支予 戸 会 令 ブ 算を ラザ (大矢卓会長 和 4 決 年 ホ テル 8 度 た。 0) 事 で

船等 を コ 振 実 \Box 興 令 ナ 施 E 和 す 港 0 関 4 る他 歓 感 年 す 迎 染 度 る 及は、 状 行 啓 況 事 発 や先進 種 を見なが 意 活 交流 見活 動 を 港 ミッ 動 行 76, 気や貿易 湾 Š 他、 シ 視

> 参 加する予 定

7

さ 港 が 戸 は、 ħ 運 港 た。 専 (株) 新 湾 務理 代 たに会長に 任期満了に伴 運 表取 送 事 (株) 締 代 役 北 表 澤 社 村 取 ·藤孝 長 春 う 役 締 彦 之氏 他 氏 役 員 が 改 社 選 新 選 長 丸



▲新会長に就任した 澤藤孝之氏

株式 会社 ナスメディック

"未来のあらゆる感染症の 課題解決"に挑む会社です!

発明の名称:「水素含有抗微生物剤」特許取得 (日本・イギリス・オーストラリア・カナダ・香港) 弊社のもつ特許発明技術を活用し、新製品・新サ -ビスを 創り出すパートナーを募集しております。

詳細は<u>https://nas-medic.c</u>omをご覧下さい!

までに 拶。 済の て整備 今後 て、 早く復興した。 て要望を繰り した力は る] お 澤 も北 が、 け 藤 ル 市 動 スに も増 や会議 きは うる中核 新会長 継続をお 大きい 東北を代 取 0) 混 L 組 所 変 的 7 迷 は 返 した当 玉 革 0) 願 h な と自 「当協会 手を 期 表する港 で 積 度 組 (V 県 織。 を 合 極 負 きた 的 好 た 協 組 13 して は、 1 13 機 を 社 会 市 h ポ で、 لح 深 会 0 لح 捕 業 1 8 果 対 لح 今 経 挨 え

負 を語 た。

退

任

するに当

た

ŋ

前

会

 \mathbb{H}

本大震

災

か

Ġ

八 大矢

戸

港

が

最 長